



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社東栄リーフアーライン 上場取引所 東
 コード番号 9133 URL http://www.toeireefer.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 弘文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鍋島 嘉六 TEL 03-5476-2085
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,405	△40.0	56	△38.0	76	△6.0	79	69.2
27年3月期第1四半期	2,345	3.7	91	—	81	—	46	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 81百万円 (52.7%) 27年3月期第1四半期 53百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.65	—
27年3月期第1四半期	8.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	11,139	4,195	37.6	721.99
27年3月期	12,108	4,200	34.6	722.96

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 4,195百万円 27年3月期 4,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,600	△22.4	150	12.6	150	△28.6	130	△6.6	22.37
通期	8,100	△12.3	600	△19.4	600	△30.4	450	△20.9	77.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	6,050,000株	27年3月期	6,050,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	239,684株	27年3月期	239,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	5,810,316株	27年3月期1Q	5,810,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(2) 四半期連結貸借対照表	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策を背景として企業の業績改善が見られるなど、全体として緩やかな回復基調であったものの、輸出や個人消費が振るわず、景気回復には弱さが見られました。

このような状況のもと、当社グループは利益確保を第一とし当期計画は着実に進展しておりますが、当第一四半期連結累計期間において、洋上給油事業では燃料油価格下落、海運事業においては運航船舶の減隻、また貿易事業においては商品販売計画の遅れなどの影響により、売上高は前期比9億4千万円(40.0%)の減収となりました。しかしながら経常利益では前期比4百万円(6.0%)と若干の減益ではあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益などの計上により前期比3千2百万円(69.2%)増益となりました。

当第1四半期連結累計期間と前第1四半期連結累計期間の連結業績比較は以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	2,345	1,405	△40.0
営業利益	91	56	△38.0
経常利益	81	76	△6.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	46	79	69.2

また、セグメントごとの業績は以下のとおりです。

セグメント(百万円)		前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	増減率 (%)
海運事業	売上高	685	580	△15.4
	セグメント利益	63	91	44.2
貿易事業	売上高	767	300	△60.9
	セグメント利益	62	7	△88.5
洋上給油事業	売上高	762	374	△50.8
	セグメント利益	24	17	△28.7
船舶貸渡事業	売上高	129	150	16.4
	セグメント利益	14	17	20.5

① 海運事業

海運事業につきましては、契約満了による超低温冷蔵船1隻の返船により売上高は減少したものの、燃料油価格下落の影響などにより、前年同期と比べ減収増益となりました。

② 貿易事業

貿易事業につきましては、餌料商品販売において前年同期間に計上された商品相当量が当期間においては船積遅延により第2四半期に計上されること、またサシミまぐろ類の買付輸入販売においては国内消費低迷の影響を受けたことなどにより、前年同期と比べ大きく減収減益となりました。

③ 洋上給油事業

洋上給油事業につきましては、前年同期間と比べて販売数量はほぼ同量であったものの、燃料油価格下落により販売単価が低下し、前年同期と比べ減収減益となりました。

④ 船舶貸渡事業

船舶貸渡事業につきましては、円安効果により前年同期と比べ増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億6千8百万円減少し、111億3千9百万円となりました。このうち流動資産は前連結会計年度末に比べ10億5千6百万円減少し、64億8千百万円となりました。これは、現金及び預金4億9千1百万円、商品及び製品2億3千万円などが増加したものの、その他に含まれる短期貸付金9億4千7百万円、立替金2億2千8百万円などが減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末に比べ8千8百万円増加し、46億5千9百万円となりました。これは、船舶1億1百万円などが減少したものの、投資その他の資産のその他に含まれる敷金及び保証金2億円などが増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億6千3百万円減少し、69億4千4百万円となりました。これは、流動負債で未払法人税等2億1千6百万円、海運業未払金及び買掛金2億5千4百万円などが減少、固定負債で長期借入金2億7千6百万円などが減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、41億9千5百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益7千9百万円の計上と前期末の配当金8千7百万円の支払いにより利益剰余金が7百万円減少したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より3ポイント増加し37.6%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

海運事業において期初に予定した超低温冷蔵船1隻の定期備船契約継続を実施しなかったこと、貿易事業においては販売スケジュールの繰り延べ、国内消費低迷による販売数量の減少などを総合的に考慮し、第2四半期および通期の連結ならびに個別業績について平成27年5月12日に公表いたしました売上高を修正いたします。なお、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益・当期純利益につきましては、現時点において概ね計画通りに推移する見込みであります。また、配当予想につきましても期末12円配当に変更はございません。

平成28年3月期の個別業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期 (累計)	3,400	△24.2	110	△59.2	90	△53.3	15.48
通期	7,600	△15.7	500	△50.8	400	△44.4	68.84

平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)につきましてはサマリー情報(表紙)に記載しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
海運業収益	814,927	730,494
海運業費用	682,372	563,799
海運業利益	132,555	166,695
貿易業収益	767,978	300,183
貿易業費用	673,866	263,350
貿易業利益	94,112	36,833
洋上給油事業収益	762,708	374,848
洋上給油事業費用	735,502	356,821
洋上給油事業利益	27,205	18,027
売上総利益	253,874	221,555
販売費及び一般管理費	162,571	165,004
営業利益	91,302	56,551
営業外収益		
受取利息	16,824	25,881
受取配当金	1,699	2,284
為替差益	—	4,449
その他	2,295	1,525
営業外収益合計	20,819	34,141
営業外費用		
支払利息	21,950	13,270
為替差損	306	—
デリバティブ評価損	6,965	—
その他	1,537	980
営業外費用合計	30,759	14,250
経常利益	81,361	76,441
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25,069
特別利益合計	—	25,069
税金等調整前四半期純利益	81,361	101,511
法人税、住民税及び事業税	5,162	867
法人税等調整額	29,299	21,287
法人税等合計	34,461	22,154
四半期純利益	46,899	79,357
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,899	79,357

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	46,899	79,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,860	△9,124
繰延ヘッジ損益	1,285	9,811
為替換算調整勘定	329	1,463
その他の包括利益合計	6,475	2,150
四半期包括利益	53,374	81,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,374	81,507
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(2) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,903,388	2,394,991
受取手形・海運業未収金及び売掛金	1,596,551	1,013,268
商品及び製品	175,491	406,105
原材料及び貯蔵品	263,370	255,090
その他	3,604,782	2,415,563
貸倒引当金	△6,716	△4,940
流動資産合計	7,536,869	6,480,078
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	3,304,982	3,203,947
その他(純額)	216,409	244,961
有形固定資産合計	3,521,391	3,448,909
無形固定資産		
43,201		39,856
投資その他の資産		
その他	1,007,303	1,171,255
貸倒引当金	△646	△658
投資その他の資産合計	1,006,657	1,170,596
固定資産合計	4,571,250	4,659,362
資産合計	12,108,119	11,139,440

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金及び買掛金	978,167	755,965
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	1,473,204	1,429,924
未払法人税等	218,656	2,270
賞与引当金	94,766	15,647
役員賞与引当金	50,000	—
その他	779,971	766,830
流動負債合計	3,634,766	3,010,638
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	3,884,013	3,607,092
退職給付に係る負債	153,163	153,133
特別修繕引当金	91,548	84,461
その他	93,973	49,108
固定負債合計	4,272,697	3,933,794
負債合計	7,907,464	6,944,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	890,000	890,000
資本剰余金	961,593	961,593
利益剰余金	2,328,072	2,320,274
自己株式	△49,151	△49,151
株主資本合計	4,130,513	4,122,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,336	43,211
繰延ヘッジ損益	6,260	16,072
為替換算調整勘定	11,544	13,007
その他の包括利益累計額合計	70,141	72,291
純資産合計	4,200,654	4,195,007
負債純資産合計	12,108,119	11,139,440

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	685,903	767,978	762,708	129,023	2,345,615	—	2,345,615
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	685,903	767,978	762,708	129,023	2,345,615	—	2,345,615
セグメント利益	63,109	62,288	24,042	14,668	164,108	(72,806)	91,302

(注) 1. セグメント利益の調整額72,806千円には、セグメント間取引消去4,050千円、各報告セグメントに
配分していない全社費用76,856千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属
しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	580,229	300,183	374,848	150,265	1,405,526	—	1,405,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	580,229	300,183	374,848	150,265	1,405,526	—	1,405,526
セグメント利益	91,047	7,133	17,123	17,679	132,983	(76,432)	56,551

(注) 1. セグメント利益の調整額76,432千円には、セグメント間取引消去4,650千円、各報告セグメントに
配分していない全社費用81,082千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属
しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。